

札所 番号	寺 院 名	札所本尊	所 在 地	ご 御 詠 歌	備 考
1	観蔵寺(城恩寺)※1	馬頭観音	東松山市日吉町(同松山町)	春駒を むすびそめたる 松が枝に みどりもながく ふくむ山寺	廃寺になり、馬頭観音と札所は城恩寺に引き継がれている。
2	浄福寺	聖観音	東松山市松本町	はるばると 山を越えじの 観世音 松の林に すむぞひさしき	『新編武蔵風土記稿』※2には聖観音の作者は「恵心」とある。
3	岩室 いわむろ 観音	聖観音	吉見町北吉見	きく音や ちまたにわかる 山水も 落つれば同じ 岩室の谷	建物は京都清水寺 きよみずでら の懸造り かけ を模したと伝わる。
4	慈雲寺(等覚院)	十一面観音	東松山市古凍	古凍 ふるごおり 罪はだいじに きえゆきて のどかにてらす むらさきの雲 つみ	「慈雲寺橋」の近くの川原にあったが、1969 年に廃寺になり、十一面観音と札所は等覚院に引き継がれた。
5	普門寺	聖観音	川島町正直	たえなさを ひと木の松に たづぬれば 法の二葉の 雫 しずく のみして	廃寺となった敷地に観音堂のみ残っている。
6	超福寺	聖観音	川島町戸守	よもすがら 戸守にやどる むら烏 せむいの山に ひびく木枯し	超福寺境内の北戸守集会所に聖観音が祀られている。
7	潮音寺	聖観音	川島町正直	そのきしに あらねどこゝに 潮音寺 願ひは同じ ふだらくの道	現在は子育て観音として信仰を集めている。
8	延命寺	十一面観音	川島町中山	誓 ちかい ひてし みたけを登る すゞしさに 命を延ぶる 中山の寺	現在の本堂は 2002 年に建て替えられたものである。
9	能性寺	十一面観音	川島町中山	まことある 心に慈悲 じひ の かをとめし 梅の林も 法の山みち のり	廃寺となり、現在は天神様の境内に観音堂のみ残っている。
10	正泉寺	聖観音	川島町中山	もろともに 袖をひちぬる 正泉寺 みのりもたえぬ 流なりけり	聖観音は南北朝期の作とされ、川島町指定文化財となっている。地元では「魚藍観音」と呼ばれている。
11	淵泉 えんせんじ 寺	(不明)	川島町吹塚新田	世々かけて 誓いぞ深き 淵泉寺 むすぶ願いも はなのしがらみ	かつては町立西中学校の正門付近にあったが、現在は廃寺。
12	蓮花院(金乗院)	聖観音	川島町上伊草	ありがたや 伊草のみ寺 名にみでて 同じ蓮 はちす の 糸にひかれん	廃寺となり、聖観音と札所は金乗院に引き継がれている。
13	金乗 こんじょういん 院	聖観音	川島町上伊草	月ならで あまねきかどの ちひのてり 伊草にうつる 瑠璃 るり のつゆかな	金乗院境内の観音堂が 12 番・13 番・14 番札所となっている。
14	観音院(金乗院)	十一面観音	川島町上伊草	旅枕 とてもなさけは 伊草村 観音院に ひびく虫のね	廃寺となり、十一面観音と札所は金乗院に引き継がれている。
15	観音寺	聖観音	川島町戸守	たらみめの 情けぞ深き 観音寺 たのめやたのめ なむの乳房を	廃寺となった敷地に観音堂と墓地が残っている。
16	宝蔵寺	聖観音	川島町長楽	詣で来て 長くたのしむ 蓮 はちす ぞと 心の糸を とく法 のり の寺	廃寺となった敷地に観音堂と墓地が残っている。
17	世明 せみょうじゅじ 寿寺	千手観音	東松山市正代	いづる日の 情けと共に 観世音 ひがしさきより 口 あけぼの じの 曙	千手観音は南北朝期の作とされ、東松山市指定文化財となっている。
18	東光院	聖観音	東松山市高坂	しづくまで 光りや放つ 花の色 枯れぬ誓いや みねのしらふぢ	東光院境内の観音堂に聖観音が祀られている。白藤観音とも呼ばれている。
19	泉蔵寺	十一面観音	東松山市上押垂	都幾川の 流れに花を こぎまげて 春のにしきに 乗 のり る法の舟	1997 年に十一面観音の修理が行われ、胎内銘から天正3年(1575)に造られたことが判明した。東松山市指定文化財。
20	千住寺(浄光寺)	聖観音	東松山市下青鳥	すむ山も 心の塵 ちり ぞ ふき払う たへなる法 のり の たか松の風	下青鳥の氷川神社脇にあったが、廃寺となり札所は浄光寺に引き継がれている。
21	長慶寺	聖観音	東松山市神戸	沢田山 かけてぞたのむ ほととぎす ただひく声の 慈悲の道筋	もとは嵐山町菅谷にあり、宝暦 13 年(1763 年)現在の場所へ移転したとされる。
22	羽尾 はねお 寺(興長禅寺)	十一面観音	滑川町羽尾	むすびして いつまで草の 羽尾寺に 大悲のつえを たのむちごさか	羽尾寺については『新編武蔵風土記稿』にも記載がなく、詳細は不明。現在は興長禅寺が22番札所を引き継いでいる。
23	福正寺	聖観音	滑川町月輪	みがきぬる 智恵の鏡や 勢至堂 まよひを照らせ 月の輪の里	御詠歌中の勢至堂は藤原兼実が建久年間(1190～99)に建立したと伝わる。兼実は月輪殿とも呼ばれ、地名の由来となっている。
24	法善寺	十一面観音	滑川町水房	目の前に みのりの池の 水房に むすぶ誓ひは たのもしきかな	廃寺となった敷地に観音堂が残っている。
25	御堂 みどうやま 山	(不明)	嵐山町太郎丸	篠原 しのはら を わけつつゆけば 御堂山 法 のり をたつきの 道しるべにて	御堂山の西側の中腹に観音堂がある。
26	多田堂(東昌寺)	千手観音	嵐山町菅谷	たのめただ 菅谷木かげの 雨宿り 誓いもらさじ 葉桜のかさ	徳川二代将軍秀忠の乳母・大姥局の持仏を子の岡部主人が所領地(菅谷 154)に堂を建て祀り、家臣の多田家に守らせた。
27	千手院	千手観音	嵐山町千手堂	雲かすみ かがやく峰の 千手堂 心 のり ぞ法の はなのひとすじ	大平山を背にした山麓にある。寺伝によると創建年代は天暦 3 年(949)に遡る。その後数回の火災を経て、現在の本堂は明治前半に周辺地域の寄付によって再建された。
28	菩薩 ぼさつどう 堂	聖観音	嵐山町志賀	えもすずし 御法 みのり の池の 水鏡 慈悲の姿を うつす蓮葉 はちすば	江戸時代の志賀村には川越児玉往還の宿駅があり賑っていた。境内にある聖徳太子像等の石造物群は町指定文化財。
29	円通寺(聖観音堂)	聖観音	小川町中爪	たなびきし 紫雲 しうん は山に あやてりて 心のやみを はらう松風	廃寺となった敷地に観音堂が残っている。現在は小川七福神の二神。
30	観音寺	聖観音	嵐山町越畑	日々日々に 御名を唱ふる 観音寺 また日々日々に 罪は消えなん	廃寺となった敷地に観音堂が残っている。
31	三角堂	十一面観音	嵐山町吉田	巖 いわ つつじ 今咲きそめし 吉田山 きぎすに慈悲の 声ぞひびきて	吉田二区集会所の裏手の一段高い所に堂がある。
32	谷津堂	聖観音	滑川町下山田	たのみある 心をすてし ねびの山 田毎 みて に御手の かげをうつして	現在は小さな祠が建っているのみ。
33	菅谷堂(宗悟寺)	蛇 じゃくし 苦止観音	東松山市大谷	ゆきとけて ねがいもみつる すがやつに 今ぞ大悲 だいの の にほふ梅がえ	廃寺となり、札所は宗悟寺に引き継がれている。

【参考文献】

大塚仲太郎「比企西國御詠歌」埼玉史談第6巻第2号 1934年

特別展図録『歴史をあるく ―埼玉の札所めぐり―』埼玉県立博物館 1997 年

東松山市文化財ボランティアの会 「比企西国三十三札所めぐり」

【注】

※1 寺院名の()内は札所を引き継いだ現在の寺院

※2 『新編武蔵風土記稿』は文化・文政期(1804 年～1829 年)に編纂された御府内(江戸)を除く武蔵国の地誌